

2011年3月期 第2四半期決算説明会 質疑応答概要

- Q1 : 上期に発売されたゲームソフトの出荷本数を教えてください。
- A1 : 2010年9月末までの出荷本数は、「NO MORE HEROES 英雄たちの楽園」PS3版が27,500本、Xbox360版が21,000本、「一騎当千 XROSS IMPACT (PSP)」が33,500本、「牧場物語 ふたごの村 (ニンテンドーDS)」が168,700本、「フェイト/エクストラ (PSP)」が104,600本です。なお、10月以降もリピート受注が継続して入っており、「牧場物語 ふたごの村」につきましては現時点で177,000本以上を出荷しております。
- Q2 : 最近の御社のゲームソフトは、以前と比べてバグが少なくなっている印象ですが、これはデバッグ体制の強化などを行った効果が表れているということでしょうか？
- A2 : ご指摘の通り、数年前より取り組んでいるデバッグの強化と、今期から品質管理専任者を設置したことなどによるクオリティ・コントロールの成果が徐々に現われてきていると考えております。
- Q3 : 下期に発売予定のゲームソフトの販売計画を教えてください。
- A3 : 下期に発売を予定している4タイトルの合計で、11万本弱の出荷を計画しております。なお、2010年10月に発売済みの「NO MORE HEROES 2 DESPERATE STRUGGLE (Wii)」につきましては、現時点で25,000本以上を出荷しており、既に通期の計画を達成しております。
- Q4 : 下期発売予定の「ルーンファクトリー オーシャンズ」はPS3とWiiのマルチプラットフォームタイトルですが、今後もPS3とWiiのマルチプラットフォームを基本としていくのでしょうか？
- A4 : 「ルーンファクトリー オーシャンズ」につきましては、当初Wii版のみの開発予定でしたが、市場ニーズを検討した結果、PS3とのマルチプラットフォームに切り替えを行いました。「NO MORE HEROES 英雄たちの楽園」のように海外に強く、コアユーザー向けのタイトルではPS3とXBOX360のマルチで展開するケースもあり、今後マルチプラットフォームタイトルを編成する場合は、各タイトル毎のターゲットに沿う形でハードを選択していきたいと考えております。

- Q5 : 来期のゲームソフトの編成計画を教えてください。
- A5 : 今期国内での発売を予定しているゲームソフトは9タイトルですが、来期も今期とほぼ同程度のタイトル数を計画しております。現行機種向けタイトルに加え、2010年2月に発売予定の「ニンテンドー3DS」向けタイトルも複数編成する予定です。
- Q6 : 「ニンテンドー3DS」向けソフト1タイトルあたりの開発費はどれくらいなのでしょう
か？
- A6 : 作品の内容によって開発費は大きく変わってまいりますので、一概には申し上げられない部分がございます。タイトルによって強弱をつけ、当社の場合ではミニマムで7,000万円、MAXで1億5,000万円程度を計画しています。
- Q7 : ブラウザゲーム「みんなで牧場物語」は今年中のサービスイン予定とのことで、当初の予定より若干遅れているようですが、これはクオリティの向上を図っているためという理解でよいでしょうか？
- A7 : 「みんなで牧場物語」につきましては、当社として初めて本格的に市場投入するブラウザゲームであり、かつ当社のキラーコンテンツ「牧場物語」をベースとしておりますので、投入に関しては丁寧に行っていきたいと考えております。2010年10月から11月にかけて2回のクローズドベータテストを行いました。プレイしていただいたお客様からは概ね良い評価を頂戴しております。

以上